

【熊本県PTA連合会賞】

一歩・踏み出す勇気

菊池市立七城中学校 1年 田代 栞那

「誰かのために、自分で考え自主的に行動する。」これはつなぐを読んで印象に残ったことです。熊本地震は、私たちの生活に大きな被害をもたらし衝撃を与えました。私は、その時まだ幼かったので、理解できていない状況でしたが、ゆれが強く机の下にとっさに隠れ、家が倒れるのではないかととても怖かったのを覚えています。家族で車中泊しましたが、警報音が鳴り響き不安な気持ちでいっぱいでした。余震は続いていましたが、幸い私の地域では建物の倒壊はさほどなく安心しました。本震の翌日、ニュースで被害状況や避難所の様子を見て、地震の怖さを改めて知るとともに現実にこんな事が起きるのかと驚きました。

年月が経ち復興が進む中、地震に関する被害情報を聞いたり、災害対策などについて学ぶ機会が増えました。同じ熊本でも私が知らないところで不便な生活を強いられたり、不安な気持ちと戦っている人達がまだたくさんいるのだと思い辛い気持ちになりました。つなぐの体験談の中では、私と同じ年代の人達が被災状況の中でも自分にできることは何かを考え、水くみや物資配布のボランティアを開始し、自主的に行動する姿が書かれていました。一人一人が行動する事で、次第にみんなが笑顔になり、お互いにプラスの効果が生まれる様子が伝わってきました。また、その効果は連鎖していくものだと感じました。不安や恐怖を抱えながらも周りの人達と声をかけ合い、助け励まし合って過ごす様子を知り、自分は行動できるのかと思いました。現在もどこかで災害が起きており予測できないことが多くあります。そのような場面に直面した時、「自分の事だけでなく周りの状況を見る気持ちの余裕があるのだろうか。」「自ら行動に移すことができるだろうか。」今の自分に何ができるか考えてみました。思っているだけでは何も進みません。勇気を出して一歩踏み出し困っている人に声をかけたり、行動を起こすことが大切だと改めて感じました。小さなことでも、その積み重ねが当たり前になれば、大きな力や助けになり、お互いが笑顔になれることはとても素敵なことです。

私も、まずは家族や学校生活の身近な所から行動することを意識していこうと思いました。両親が仕事で忙しい時、自分から率先して手伝いをしたり、友達が困っている時は声をかけて話を聞くなど、小さなことでも「今私にできることは何か。」を心がけていこうと思いました。実際、自ら手伝いをして、「ありがとう。」という言葉が返ってきたり、喜んでもらった時はうれしい気持ちになるし、自分が困っている時に助けてもらおうと心が軽くなり、自然と笑顔になります。笑顔には相乗効果があると実感する機会は多くあります。私は、小さなことでも勇気を出して行動できる人でありたいと思います。